

カンボジアにおけるラタン手工芸品産業の現状と課題 －シェムリアップ州カーサン村を事例として－

森 千 恵

要 約

本稿は、カンボジア北西部のシェムリアップ州カーサン村において古くから副業として世帯収入を補填してきたラタン手工芸品（Rattan Handicraft 以下 RH）生産者に関する調査に基づき当産業の現状を分析することで、生産者の生計状況と RH の生産状況の実態について考察を試みた。その目的は、将来 RH 産業が持続可能な産業として、生産者に安定した雇用と所得機会を供給できるようにするための支援と改善策を検討することにある。

調査結果から、カーサン村 RH 生産者の実態は、多くの生産者の所得が不安定であり、RH の販売価格の低さに不満を持っているにも関わらず、雇用と所得機会が少ないため RH 生産を副業として続けざるを得ないという実態が明らかになった。今後の RH 生産の発展のためには、①品質向上トレーニング、②生産効率向上のための組織づくり、③情報収集及びトレンドの調査④新規市場の開拓、⑤①～④を行う上で生産者や仲介人の意識向上を測ることが必要であるという結論に達した。

はじめに - 研究背景と目的

カンボジアはかつての混乱状態により長きにわたって経済発展が妨げられ、アジアで最も貧しい国の一つとされてきた。しかし、近年都市部を中心に経済成長しており、2011 年以降、実質 7.0% を超える経済成長を続けている（World Bank、2016）。また、世界的に有名な世界遺産であるアンコールワットを擁するシェムリアップ州も観光業を中心に発展が目覚ましい。2015 年、観光客数はシェムリアップ州だけで約 212 万人、カンボジア全体をみると 470 万人にも上った（Ministry of Tourism、2016）。このような進展に伴い、カンボジアの貧困も大きく改善されてきたが、それでも全人口の約 2 割は未だ貧困層であり、特に、農村部における貧困率が高い¹⁾。

* 本稿の執筆にあたり、匿名レフェリーの方より貴重な助言を頂いた。ここに記して感謝の意を表したい。また、本稿における誤りはすべて筆者の責任である。

1) カンボジア独自の貧困ライン（カンボジア全体が 3,871 リエル、農村部が 3,503 リエルであり、米ドルに換算すればそれぞれ、0.97 ドル、0.88 ドルである）によれば、2014 年におけるカンボジア全体の貧困

貧困率の高いカンボジア農村部において、副業として世帯収入を補助してきたものの一つがラタン手工芸品 (Rattan Handicraft: 以下 RH) 生産である。カンボジアでラタンは古くから食用や伝統的な薬、家屋の一部など様々な用途や取引の為に利用され、大きな役割を担ってきた。そして、本稿の対象地域であるシェムリアップ州では、1960 年代に政府によって RH 生産が奨励され、積極的な生産活動が開始された。現在では、RH は国内市場とタイへの輸出用のものを中心に、シェムリアップ州ではカンボジアにおけるラタンバスケットの 80% を生産している²⁾。RH 生産は約 50 年もの間、シェムリアップ州の村々において受け継がれてきた産業である。しかし、近年、製品価格の低さから他の仕事に転職する生産者が増え、生産者の数は減少してきている。それでもなお、RH 生産は農村に留まりながら所得を得るための貴重な機会である。未だ開発が遅れる農村部の中には、市街地へのアクセスの困難さや育児との両立の問題によって RH 生産以外の選択肢を選ぶことが難しい人々も存在する。経済成長や社会文化の変化によって、RH 産業の衰退は避けられないが、RH 生産以外に選択肢を持たない人々にとって RH 産業の存続と、それに関わる諸問題の改善は極めて重要な課題である。以上の問題意識に基づいて、今後 RH 産業が持続的な村の産業として存続し、村内の生産者が安定した雇用と所得機会を獲得し、発展させていくためにはどうすればよいか、検討する必要があると考える。そのため、RH 生産者の世帯経済状況と労働や生産の現状を見ていくことで、RH 産業の課題を明らかにし、今後の RH 産業の発展について検討することを本稿の目的とする。

1. 先行研究

農村における手工芸品生産者の経済社会状況やその支援と開発に関する研究はあらゆる地域で行われている。牛久 (2012) はガーナ北東部で生産されるボルガ・バスケット³⁾の生産、売買の仕組みを明らかにし、農村で生産された多様な製品を先進国市場で流通させる上での地元の仲介者と国内外の民間企業の貢献を強調した。ボルガ・バスケットの生産者もまたほとんどは農業を主な生計手段とし、経済的、時間的事情に応じた生産を行っている。調査地域では生産者の事情に配慮された生産ペースを守りながら、品質やデザイン、数量の確保と納期の厳守を可能にした仕組みを形成している。牛久は、生産者の生活状況と先進国の流通事情を理解する仲介者の調整により、生産者のバスケット生産が他の経済活動と併存でき、重要な役割を果た

率は 22.8%、農村部 24.6% である。(ADB, 2014)

2) シェムリアップ州ではバスケットの他にペン立てやティッシュケースなど多様な RH の生産が見られるが、現在輸出の記録があるものはバスケットのみであり、カンボジアにおけるラタン製品の分類も家具とバスケットに分けられている。

カンボジアにおけるラタン手工芸品産業の現状と課題
－シェムリアップ州カーサン村を事例として－

すとしている。また、樋口(2014)は、ベトナムの多様な手工芸品生産にまつわる生活とその支援について「①村単位で今日まで続けられてきた手工芸は今、観光資源としての可能性が期待され、規模によっては産業振興政策の対象となるということ、また、②これらの手工芸品生産に人々が『従事すること』は、手工芸品産業の持つ労働集約的性格からも、村における雇用創出、社会的弱者の生活支援となり、人々の生活にとってその存在と役割は現実的な意味合いを含む民間主体的な生活支援である(樋口、2014、155頁)。」と観光及び経済的な観点からの貢献を述べている。加えて、インドネシア⁴⁾やバングラデシュ⁵⁾など、世界のあらゆる地域でRHを含む手工芸品産業は、農村の生産者の生活を支える重要な経済活動の一つとして捉えられてきた。

カンボジア及びシェムリアップ州の手工芸品産業に関する研究についてはHill(2015)が実証的研究に基づき、カンボジアでは手工芸品産業が貧困の軽減、所得の向上、経済成長に貢献する潜在性を秘めていると結論づけた。特に、外国語でコミュニケーションをとることのできるスキルを持ち、国内市場と輸出市場の両方にアクセスすることのできる生産者や、新しい技術を学ぶ機会を持った生産者は、以前よりも経済的な改善がされていることを、インタビュー調査をもとに明らかにしている。Hillは、手工芸品産業は開発の促進、貧困の軽減を促進するための顕著な潜在性を持っており、市場の需要に合わせた新しい技術を紹介し、若者の雇用を生んでいると主張した。また、市場とのつながりが脆弱な生産者ほど原材料の高騰により貧困に陥るリスクが高いとしており、バスケットやマット、サトウキビとヤシの葉の雑貨の編み手は特に原材料の減少、価格の高騰のため、その調達において最も困難な状況にあるとしている。

このように世界では、手工芸品産業に対する支援組織や企業の取り組みによる効果も研究されており、シェムリアップ州のRH産業も将来的に支援組織や企業の支援が必要であると考えられる。しかし、シェムリアップ州のRH産業において支援組織や企業による原材料の調達や技術トレーニングなど、何らかの取り組みが確認される村はわずかであり、その効果に関する研究は見られない。シェムリアップ州のRH生産者の社会経済状況に関しては、Lwin、山川(2014)がポピセ村の世帯貧困状況、村内の不平等状況、世帯当たり消費状況、資産保有状況、耐久消費財所有状況等の分析を行っている。それをもとに、ポピセ村のRH生産に関する経験と技術、生産と価格の決定要因、原材料採集地への距離と採集費用、原材料保有量、RHの価格、需要と供給のポテンシャルを分析した。その結果、ポピセ村では多くがRH生産に従事しているた

3) 牛久(2012)によれば、ガーナ北東部ボルガタンガ周辺でイネ科草本を用いて手作りされるバスケットの総称である。2009年の輸出量は約160万米ドル、輸出量は約300tであり、主に米国、ドイツ、日本、フランスに輸出されている。

4) 長澤(2014)は、インドネシアジョグジャカルタ市における小規模なフェアトレード組織が手工芸品生

め、RH 産業の開発は村の開発に大きく寄与するとしている。また、他の産業に転職した方がより高い所得を得られることは明らかであるが、村内に住むことができる産業として RH 産業の存続は重要であるとし、RH 産業の開発の必要性を述べている。

上記をはじめとしたシェムリアップ州の RH 産業に関する研究⁶⁾は、生産者の経済社会状況が中心となり、その潜在性や生産者の貧困削減の可能性、今後の開発の必要性が述べられている。本研究においては、今後シェムリアップ州の RH 産業が存続し、村の人々にとって安定した雇用と所得機会を獲得する手段となるよう発展させていくため、経験と生産スキル、生産状況、価格交渉やコスト管理をはじめとした RH 産業の実態に重きを置いて研究する。そして、その現状から改善が求められる具体的な課題を明らかにする。

2. 調査地の概要－カンボジア・シェムリアップ州－

本稿の調査地域であるカンボジアはインドシナ半島に位置し、東にベトナム、北にラオス、西にタイと国境を接している。東南アジア諸国の中でも、内戦及び虐殺の歴史により、経済成長が遅れてしまった CLMV 諸国⁷⁾の一つであるが、近年は順調に経済成長を遂げ、それに伴い貧困問題も改善されてきている。しかし、いまだ多くの人々が貧困に陥るリスクにさらされている。特に農村部においては、都市部と比べ貧困率は高い状態にあり、シェムリアップ州も貧困状況が深刻な地域のひとつである。

シェムリアップ州は首都プノンペンから北西約 300 キロメートルに位置し、面積は 1 万 299 平方キロメートル、12 の郡と 100 の行政区、924 の村を有する。推定人口は 99 万 9,703 人 (2011) である。表 1 は 2004 年と 2012 年の州別貧困率をまとめたものである。アジア開発銀行 (Asian Development Bank: ADB, 2014) によれば、毎年 12 月に行政区単位で集計される社会経済的データベースをもとにした 2004 年のシェムリアップ州の貧困率は 42.2% (ADB, 2014) である。しかし、世界的に有名な世界遺産アンコールワットがあることから、観光関連産業が発展しつつあり、徐々に貧困改善もなされてきた。事実、2012 年には貧困率は 28.8% まで減少した。けれども、いまだカンボジア 24 州中 7 番目に貧困率が高く、比較的貧しい地域であることに変わりはない。同年の最も低いプノンペンの貧困率が 0.1% であることから、大きな差があることは明らかであろう。シェムリアップ州は人口の約 8 割が農村部に居住しており、中心部における観光産業の発展の影響も少ないことが推察される。数値から貧困削減を読み取

産者に対して果たす役割を明らかにした。

5) Rahman, Most. Fardusi, Roy, Kamal, Uddin, Khan(2011)は、バングラデシュ北東部における家具、手工芸品、などのラタン関連企業が、貧困層の雇用を通して、バングラデシュにおける経済的な貢献が大きいとした。また、より高い価格設定にすることができマーケティング環境を整える更なる支援があ

カンボジアにおけるラタン手工芸品産業の現状と課題
 - シェムリアップ州カーサン村を事例として -

ることはできるものの、未だ農村部を中心に深刻な状況にあるといえる。

表 1 州別貧困率

順位	州名	貧困率 (2004)	州名	貧困率 (2012)
1	ラタナキリ	50.7	ブレアヴィヒア	37.0
2	ブレアヴィヒア	50.2	ストゥントレン	36.8
3	モンドウルキリ	47.0	ラタナキリ	36.2
4	オダルミンチェイ	46.6	オダルミンチェイ	34.3
5	ストゥントレン	46.1	モンドウルキリ	32.9
6	クラティエ	43.9	クラティエ	32.6
7	シェムリアップ	42.2	シェムリアップ	29.1
8	パイリン	41.7	カンボントム	28.8
9	カンボンスプー	41.4	ブルサト	27.8
10	カンボントム	41.1	カンボンチュナン	27.7
途中省略				
24	プノンペン	6.8	プノンペン	0.1

出所:ADB(2014)より作成

3. カンボジアにおけるラタン産業

カンボジアにおいてラタンは古くから、食用、伝統的な薬、日用品、家屋の一部への利用など人々の生活に深く関わってきた。世界自然保護基金（World Wildlife Fund: 以下 WWF、2010）は、ラタンは近年カンボジアにおいて、経済的、社会文化的に重要視されてきているとしている。Hourt(2008)は、カンボジア国内には18種のラタンが生育しているとしている。カンボジア国内では米作地に生育するルピア（Lpheap）以外は、主にプダオ（Phdao）と呼ばれ、その種類によって呼び方が異なる。また、種類によって様々な特徴を持つため、その用途や取引状況も異なっている。この18種のうち、家具に利用されているものが8種、RHに利用されるものが3種、どちらにも利用するものが3種である。その他、日用品として利用されたり、

れば、よりラタン関連企業の潜在性は高まると主張している。

- 6) Lwin(2011)はバラユッス村における貧困調査を行い、貧困削減のためのRH産業による雇用と所得改善の可能性を検証した。その結果、バラユッス村の貧困が悪化していること、RH産業における雇用と所得の改善が可能であること、それによる貧困削減が可能であることを明らかにしている。また、Pwint(2015)はトーテー村における貧困状況がカンボジア全体やその他農村部より深刻であることを明ら

商業的な取引のなかったりする種は4種である。18種のうち7種が輸出されている種であり、そのほとんどが国内外問わず、家具の生産に利用される。Hourtの算出によれば、2008年のラタン原材料の輸出量がラタン関連輸出全体の95%を占めており、輸出額では全体の56%を占めている。また、輸出額の34%を家具、10%をバスケット製品が占めている。カンボジアのRH生産者はバスケットやマット、プレートなど様々な種類の手工芸品を生産している。しかし、バスケット以外の手工芸品をカンボジアから輸入している記録がある国がないことから、その他の製品は主に国内で取引されていると推察される。カンボジアにおいて、ラタン関連輸出におけるバスケットの割合は1割程度でしかない。国際的なラタンバスケットの貿易状況を見ると、全体の98%を上位10カ国⁸⁾が占めており、カンボジアのバスケット輸出は国際的に見るとわずかである。また、最大のラタン原材料輸出国(2008)であるインドネシアはラタン原材料輸出全体の80%を占めている(WWF、2011)。カンボジアは世界6位であるが、原材料に関してもカンボジアが国際的に占める割合は限られている。上述したようにラタン関連輸出量の95%を原材料が占めていることを考慮すれば、家具やバスケットとして加工され輸出される割合は低いというのがカンボジアのラタン産業の現状であるといえる。それに加え、原材料の取引価格は安く、総取引額で見ればインドネシアやシンガポールといった他の輸出国に引き離されており、取引されるラタンの種類、質、加工技術、価格交渉等、他国との競争において何らかの課題があることも推測される。

WWF(2010)によるとカンボジアにおけるラタン原材料の主な生産地はコンポントム州、もしくは他のトンレサップ周辺の州である。カンボジア国内で原材料から加工、生産され、輸出されるラタン製品は全体の輸出額の44%であるが、それらは主に家具とバスケットに分類され、そのうち70%が家具、30%がバスケットとされている。ラタンバスケットの大部分はシェムリアップ州で生産されており、カンボジア全体の80%を占めている。現在、バスケットの輸出はタイのみに行われており、ラタンバスケットによる全体の売上高の50%を占めている。バスケットなどのRH生産の多くは小規模な零細産業であるが、家具及びバスケットの生産者の所得を合わせれば年間150万ドル(WWF、2010)が家計に加わっていることとなり、経済的な貢献は明らかである。本稿ではバスケット類をはじめとしたRH生産者を研究対象とし、カンボジアにおけるRH生産の80%を生産するシェムリアップ州を研究対象として、選定した。

かにし、政府や個人、国際的な機関はインフラ整備や経済的な援助をすべきであると提言した。

7) ASEAN諸国の中で主に政治的要因により経済成長が遅れてきたとされてきたカンボジア、ラオス、ベトナム、ミャンマーの4カ国の頭文字をとった総称(廣畑、2004)。

8) 中国、インドネシア、ベトナム、フィリピン、オランダ、ドイツ、ミャンマー、タイ、香港、ベルギーの10カ国。(WWF、2011)

4. 調査方法及び対象地域、対象者の選定

現在、調査によりシェムリアップ州でRH生産を行っている村は10村確認されている。現時点で把握できているRH生産が行われている村を表2にまとめた。調査を行う村の選定はシェムリアップ州のアンコール大学に事前調査を依頼し、総人口、総世帯数、村の位置、RH生産従事世帯数を把握し、決定した。すでに調査を終えているバラユッス村、コックドン村、プロマー村と生産しているRHの種類が似ており、中心部からの距離など地理的条件が似ている点を考慮し調査対象として選定した。また、山川(2014)、Lwin、山川(2014)、Pwint(2015)により、表2中のタットレイ村、ポピセ村、トーテー村の経済、社会状況調査が行われている。

経済、社会状況を中心としたこれまでの調査に対し、本調査では、RH生産の状況に重きをおいて調査を行った。主な調査項目は1.生産者の基本情報(年齢、性別、婚姻状況、教育ステータス)2.家計(世帯所得、支出、貯蓄、ローン状況)3.居住環境(家屋、衛生環境、耐久消費財の所有、電気、水道、トイレの使用状況)4.経験と生産スキル、5.販売スキル、6.生産状況(労働時間、労働場所)7.原材料の調達8.販売価格とコスト管理9.需要と供給、将来性である。

調査対象のカーサン村はRH生産従事世帯数が55世帯と少数であるため、全数調査を採用した。また、クラベリリエル区内には村で生産されたラタン製品をタイ国境付近で取引する5名の仲介人がおり、カーサン村村長と仲介人2名に調査協力を依頼した。その3名に対しては通訳を介して直接ヒアリング調査を行った。またアンコール大学及びアンコール大学経済開発研究所(Angkor University Research Center for Economic Development: AURCED)に協力を依頼し、英語能力の高いアンコール大学の学生を10名選抜してもらった。学生は英語で作成した調査表を使用し、生産者へはすべてクメール語で調査を行った。回答はすべて生産者の記憶に頼っており、また、RH生産は農業や育児の合間に行っている場合が多く、月々の生産量や所得、消費などにばらつきがあり、回答者自身も把握しにくい。そのため、回答の正確性は十分とはいえないが、回収時に調査員と確認を行い、できるだけ正確なデータの収集に努めた。なお、調査期間は2016年2月6日と2月7日の2日間である。また、所得と支出に関する回答はすべてカンボジアの通貨である4,000リエルを1米ドルとして換算している。

9) Lwin, Yun, Mori(2010) "Possibility of Generating Better Employment and Income Opportunities in Rattan Handicraft Village of Siem Reap, Cambodia(A Preliminary Village Study from Social Business Aspects)

10) 森(2011)「カンボジアにおけるソーシャルビジネスの可能性」、『発展途上国におけるソーシャルビジネス研究－ソーシャルビジネスの貢献及び限界－』。

表 2 現時点で把握できているシェムリアップ州のRH生産を行っている村

	村名	行政区	総人口	総世帯数	生産世帯数	調査年
1	バラユッス村	トックウィル行政区	599	116	88	2010
2	コックドン村	クラベイリエル行政区	676	140	139	2011
3	タットレイ村	ブレアダック行政区	733	139	10-15%	2012
4	ボビセ村	クラベイリエル行政区	441	97	58	2013
5	ブロマー村	クラベイリエル行政区	810	160	29	2015
6	トーテー村	クラベイリエル行政区	460	97	58	2015
7	カーサン村	クラベイリエル行政区	555	120	55	2016
8	コックチャン村	オンブル行政区	863	185	推定7割	2016
9	アレアクスヴァイ村	ノルコルトム行政区	661	133	推定9割	2016
10	タナオチュルム村	ドンカウ行政区	1218	248	248	2016

出所:Lwin(2011)、Lwin、山川(2014)、山川(2015)、Pwint(2015)、及び筆者調査データより作成

図 1 カーサン村の位置



出所:Google マップより筆者加筆作成

カーサン村は、世界的な観光地として有名なアンコールワットを有する、カンボジア・シェムリアップ州のクラベイリエル地区にあり、シェムリアップ中心部より南東に約 10km に位置している。図 4 はカーサン村の位置である。村の総面積は 75ha、そのうち農地面積は 45ha である。北から西にかけてトーテー村、東にプレイポー村、南にスラーナー行政区に囲まれており、このうちトーテー村でも RH 生産が行われている。

カンボジアにおけるラタン手工芸品産業の現状と課題
 シェムリアップ州カーサン村を事例として

表3にカーサン村の基礎データをまとめた。総世帯数は120世帯、総人口は555人で、男性が265人、女性が290人である。120世帯のうちRH生産者のいる世帯は55世帯である。これら55世帯のほとんどが農業、畜産業を主な生計手段とし、副業的にRH生産を行っている。また、RH生産を主な生計手段としていると回答した6世帯も、RH生産の他に、農業や漁業、畜産業を営んでいる。一方、RH生産のみで生計を立てているのは1世帯のみである。村には小学校があるが中学校、高校はない。また、村内に病院はないが、クラベリエル行政区内にヘルスセンターがあり、行政区内の10の村は共同で利用している。行政区内に1カ所警察署もあり、村長の話によると治安がよく犯罪がおこることはほとんどない。村人が居住している土地はすべて、内戦終了後に政府から分配された土地である。村人のほとんどは生活用水として、ポンプ式、もしくは汲取式の井戸を利用している。

カーサン村におけるRHの取引は、主に生産者個人と仲介人によって行われている。生産者のほとんどは女性であり、家事や育児、農作業の合間に生産を行っている。仲介人は生産者から商品を買取り、タイ国境付近で仕入れた商品を仕入れた価格の約2倍の価格で取引をする。仲介人の話によるとタイに輸出後は国境付近で取引された価格の更に2倍の価格で取引される。主な商品のバスケットは果物入れとして利用されることが多く、特にタイで祭りのある季節には需要が高い。

表3 カーサン村の基礎データ

シェムリアップ市街地からの距離	約10km
総世帯数	120世帯
RH生産世帯数	55世帯
総人口	555人
男性人口	265人
女性人口	290人
世帯平均人数	4.6人
村内の主な経済活動	農業
村内の主な農産物	米、トウモロコシ
小学校の有無	有
中学校の有無	無
高校の有無	無
診療所の有無	無(行政区内に1カ所)
市場の有無	有

出所:筆者調査データより作成

5. 生産者世帯の経済状況

RH の生産状況を見ていく前に、セクション 5 では、回答者の世帯所得と支出、居住環境にわけて生産者世帯の経済状況について検証する。

5-1. 世帯所得と支出

表 4 は、1ヶ月当りの世帯所得を整理したものである。1世帯あたりの1ヶ月の平均所得は 304ドル、最も所得の低い世帯で 30ドル、最も所得の高い世帯は 3,845ドルであった。中央値は 200 ドルと平均に比べて 100 ドル低く、最も所得の高い世帯の値が突出して高いため平均値をつり上げている可能性が高い。この世帯は、世帯構成人数が 6 名と平均より約 2 名多く、そのうち 4 名が農業に従事し、その収入が世帯所得のほとんどを占めている。世帯所得を分類すると「100 ドル以上 200 ドル未満」の世帯が 18 世帯、「200 ドル以上 300 ドル未満」の世帯が 18 世帯であった。所得額が「100 ドル以上 300 ドル未満」の世帯が計 36 世帯で全体の 66.6%を占めている。

表 4 世帯所得（月）

世帯所得	世帯数	割合	平均	最小値	最大値	中央値	最頻値
100ドル未満	3世帯	5. 6%	304ドル	30ドル	3845ドル	200ドル	300ドル
100ドル以上200ドル未満	18世帯	33. 3%					
200ドル以上300ドル未満	18世帯	33. 3%					
300ドル以上400ドル未満	10世帯	18. 5%					
400ドル以上	4世帯	7. 4%					
不明	1世帯	1. 9%					

出所:筆者調査データより作成

これらの世帯の RH 生産以外の所得源としては 40 世帯で農業、7 世帯が畜産業と回答した。また、建設業または大工が 3 世帯、ドライバー 2 世帯、教師 1 世帯との回答であった(表 5)。ところで、これらの所得を 1 日 1 人当りの所得に換算したものを表 6 にまとめた。世帯の所得から、カンボジア政府が 2013 年に変更した貧困ライン(カンボジア :0.97 ドル、農村部 :0.88 ドル)に当てはめて貧困率を求めると、カンボジア全体の貧困ラインに満たない世帯が 13 世帯、農村の貧困ラインに満たない世帯は 11 世帯であり、それぞれ貧困率は 25.5%、21.6% となる。世帯人数により回答者世帯の貧困率を求めた場合、0.97 ドルに満たないのが 69 人で貧困率は 30%、0.88 ドルに満たないのは 55 人で 23.9% である。この貧困ラインでのカンボジア全体の貧困率率は 22.8% であり、農村が 24.6% であるため、大きな開きはないもののカンボジア全体の貧困率よりも回答者の貧困率の方が若干高く、また農村部と比較すれば回答者の貧困率が若干

カンボジアにおけるラタン手工芸品産業の現状と課題
 - シェムリアップ州カーサン村を事例として -

低いという結果になった。

表 5 RH 生産以外の所得減

RH 生産以外の主な所得源	人数
農業	40人
畜産業	7人
建設業、大工	3人
ドライバー	2人
教師	1人
不明	3人

出所:筆者調査データより作成

表 6 一人当たりの所得

1 人当たり所得 (日)	回答者数	割合
1 ドル未満	15人	27.7%
1 ドル以上 2 ドル未満	19人	35.2%
2 ドル以上 3 ドル未満	12人	22.2%
3 ドル以上	5人	9.3%
不明	3人	5.6%

出所:筆者調査データより作成

前述したようにほとんどの生産者は主に農業によって生計を建てているが、農繁期には RH 生産をほとんど行わない世帯もある。Lwin(2011) はバラユッス村の調査において、RH 生産による月別の収入、生産数に需要、供給の差によって違いが出ていることを明らかにしている。カーサン村において生産者は月別の正確な生産数を把握しておらず、仲介人も把握していないことから、正確な数字を把握することは難しいため、生産者の主観によるもので RH 生産のみの所得が安定しているかどうか判断してもらった。RH 生産のみの所得に関しては、「安定している」と回答したのは 12 名のみで、8 割近くが「安定していない」と回答している。世帯所得に関しては、「安定している」と回答した者は 7 名のみで、こちらも 8 割以上が「安定していない」と回答した。7 名のうち農業が 4 名、畜産業が 1 名、建設業が 1 名、不明が 1 名である。所得状況に関しては RH 生産による所得と世帯全体の所得のどちらも「安定していない」と考える回答者が多いことが明らかになった。また、RH 生産による所得は世帯全体の所得の約 2 割に留まっているが、世帯所得から RH 生産による所得を差し引いた月収から貧困率を求めれば、農村部貧困ラインでは回答者の 40.7%、全体の貧困ラインでは回答者の 42.6% が貧困層に当てはまり、全体の所得の約 2 割であっても、重要であることが推察される。

表 7 世帯支出(週)

	平均	最小	最大
食費	19.5ドル	1.75ドル	87.5ドル
その他支出	29.2ドル	1ドル	885.5ドル

出所:筆者調査データより作成

表 8 貯蓄及びローンの有無

貯蓄の有無		ローンの有無	
有	17 (31.5%)	有	32 (59.3%)
無	37 (68.5%)	無	22 (40.7%)

出所:筆者調査データより作成

表 7 は 1 週間当りの支出状況を表している。食費は平均で 19.5 ドル、最も少ない世帯で 1.75 ドル、最も多い世帯で 87.5 ドルである。農業や畜産業に従事している世帯では現金所得のため

のみならず、自家消費用の野菜栽培や養鶏をしている世帯が多いため家計の支出に占める食費の割合は40%に留まっている。また、その他の支出の平均は29.2ドルである。最小世帯は1ドルのみで、最大世帯は885.5ドルであり大きな差がある。最も支出の多い世帯は先述した最も高所得の世帯と同一の世帯であり、世帯構成人数が6名と平均より多く収入も最も多いことから、支出額も突出していることが予想される。表8は調査世帯の貯蓄とローンの有無を表している。貯蓄に関しては17名の回答者が貯蓄をしていると答えた。その目的はヘルスケアが最も多く、次いで農業、教育、食費などの生活費と続いた。ローンを利用しているのは半数を超え32世帯であった。その多くは農業のために土地や家畜を購入するためであり、いずれもマイクロファイナンスやNGO等による農業支援組織を利用している。農業の他にはバイクの購入や住宅、車の修理の為にローンが利用されていることが明らかになった。

5-2. 居住環境

回答者の居住環境に関しては表9にまとめた。家屋の築年数は半数近くが10年以内に建てられた家屋である。最も古い家屋は築50年で、戦前に建てられた家屋に居住している回答者も複数存在した。カーサン村内の家屋の多くは、カンボジアの他の村と同様に伝統的な造りの高床式であり、2階に寝室、1階に調理等を行う土間や、壁のない居間がある。家屋は木材を基礎として籐など草葺で造られている。生産は1階部分の居間で行われている光景がしばしば見られる。自宅にトイレがあるのは回答者の72.2%である。生活用水に関しては汲取式、ポンプ式、もしくはモーターを利用して井戸から生活用水を確保しており、すべての世帯が生活用水へアクセスできている。またすべての世帯が、政府が提供している電力もしくは企業が提供している電力を利用している状況である。

表10は耐久消費財の所有状況である。約9割の世帯がテレビを所有している一方で、冷蔵庫、エアコン、電子レンジの普及率はゼロである。また、車の所有者は3名のみであるが、バイクを所有している回答者は約6割と半数を超えている。バイクは中心部へのアクセスのために、農村部居住者にとっては必需品であるため、所有している回答者が半数を超えていると考えられる。カーサン村においては電気や生活用水の確保はされているものの、全ての世帯にトイレ設備があるわけではないことから、衛生面での問題が懸念される状況である。

カンボジアにおけるラタン手工芸品産業の現状と課題
ーシェムリアップ州カーサン村を事例としてー

表 9 回答者世帯の居住環境

家屋の築年数		トイレの有無		生活用水	
10年未満	26 (48. 1%)	有	39 (72. 2%)	井戸	48 (88. 9%)
10年以上20年未満	12 (22. 2%)	無	15 (27. 7%)	その他	6 (11. 1%)
20年以上	16 (29. 6%)				

出所:筆者調査データより作成

表 10 耐久消費財の所有状況

耐久消費財の所有状況					
テレビ	冷蔵庫	エアコン	電子レンジ	車	バイク
49世帯	0世帯	0世帯	0世帯	3世帯	35世帯
90. 7%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	5. 6%	64. 8%

出所:筆者調査データより作成

6. ラタン手工芸品の生産状況

村長によれば、カーサン村における RH 生産は 1960 年代に開始された。1960 年代のカーサン村には原材料のラタンが豊富にとれていた。また、米作を行わない時には村民は所得機会を全く持てなかったため、カンボジア政府の指示によってタケオ州から講師のグループが派遣されたのが始まりである。50 年以上も代々受け継がれてきた産業であるが、生産した RH の価格の低さから生産世帯は減少してきたという。また、仲介人へのヒアリング調査から、調査地域であるカーサン村を含むクラバリエル行政区内で生産される RH はタイのマーケットの需要が高く、需要に関しては国内の消費もあり高く保たれている。取引価格に関して上昇はしているが、それでも低い水準のままであり、生産者が価格に不満を持っている。村長によれば、これまでも RH の価格について何度も村内の会議が開かれてきたが改善はされていない。カーサン村内には農業の改善のための NGO が活動しているが、RH 産業に関しての試みはされていないのが現況である。セクション 6 ではカーサン村の RH 生産者の生産状況を、回答者の基礎データをはじめとして、原材料の調達、生産状況、経験と生産スキル、販売スキル、需要と供給、価格の変化の観点からみていく。

6-1. 回答者の基礎データ

本調査では、回答者は世帯主ではなく世帯の中で主に RH 生産を行っている人を 1 人選んでもらい回答してもらった。RH 生産は自宅で行われており、世帯内で 1 人または複数の生産者が携わっている場合が多い。一つの製品を複数の生産者で完成させる場合も考えられることや複数の生産者で生産した製品を世帯単位で仲介人が買い取ることも有りうることから、RH 生産者の所得は個人の所得ではなく世帯の所得として回答してもらった。後述するスキルや経験年数、生産状況などは個人の回答となる。また、村長によるとカーサン村における RH 生産世帯は 55 世帯であるが、1 世帯は調査時不在だったため 54 世帯を調査対象として、調査を行った。

表 11 に回答者の基礎データをまとめている。回答者のうち 52 名が女性で、全体の 96.3% である。男性 2 名はいずれも 61 歳、72 歳と高齢である。回答者の平均年齢は 41.2 歳、最年少は 18 歳で最高齢は 72 歳である。筆者がこれまでに行った調査対象村の平均年齢は、38.9 歳（ブラユース村）、37.6 歳（コックドン村）、43.9 歳（プロマー村）であり、いずれも 30 代後半から 40 代前半であり大きな差はないが、15 歳以下の子供が RH 生産を手伝っているという回答も少数ではあるがあつたため、実際の生産者の年齢の幅はより広いことが考えられる。31 歳から 40 歳までが最も多く 19 名である。また、18 歳以上から 40 歳まで範囲を広げると、31 名で半数以上となる。婚姻状況に関しては、回答者の約 8 割が既婚であり、32 世帯が 15 歳以下の子供と居住している。年齢構成と婚姻状況、子供の年齢から育児や家事をしながらの RH 生産をしていることが推測できる。表 12 は回答者の就学状況である。就学経験のない回答者が最も多く 28 人で、半数以上である。次いで小学校卒業が 16 名である。識字率に関しては、非識字者が 18 名で 33.3%、村内の識字率は 66.7% となり、カンボジアの成人識字率の 74%（2009）と比較すると生産者の識字率の方が若干低い。カンボジア全体の女性の識字率（2009）は 66%（World Bank、2016）であるので女性の識字率と比較すればほとんど変わりはないことが明らかになった。

カンボジアにおけるラタン手工芸品産業の現状と課題
－シェムリアップ州カーサン村を事例として－

表 11 回答者の基礎データ

			回答者数	割合
1	性別	男性	2人	3.7%
		女性	52人	96.3%
2	年齢構成	18歳以上30歳未満	12人	24.0%
		30歳以上40歳未満	19人	35.2%
		40歳以上50歳未満	5人	9.3%
		50歳以上60歳未満	10人	18.5%
		60歳以上	8人	14.8%
3	婚姻状況	未婚	4人	7.4%
		既婚	45人	83.3%
		離婚	4人	7.4%
		寡婦	1人	1.9%

出所:筆者調査データより作成

表 12 回答者の就学状況

就学状況	回答者数	割合
就学歴なし	28人	51.8%
小学校卒	16人	29.6%
中学校卒	4人	7.4%
高校卒	6人	11.1%
大学卒	0人	0.0%

出所:筆者調査データより作成

6-2. 原材料の調達

表 13 に原材料の調達についてまとめた。まず、原材料の仕入れ方法については仲介人やラタン畑のオーナーを通して、または市場で購入している人が 15 名で全体の 27.8% である。また、自分でラタン畑に採りにいくと回答した生産者の方が多く、30 名であった。その場合、輸送や人件費にコストがかかることがあるが仕入れる原材料に対してコストがかかることはほとんどない。また、購入する場合も、採りにいく場合もあると回答したのは 9 名であった。自宅近くで原材料を仕入れることができると回答した生産者は 18 名と全体のおよそ 3 割程度である。また、個人でラタン畑を所有しているのは 7 名のみである。そのため、多くの生産者は原材料の仕入れのために遠方まで出かける必要がある。自宅からラタン畑までの距離の平均は 64.6km で、最も遠いのは 250km も離れたところで原材料の仕入れを行っている。また、半数以上がラタンを切って運ぶためには 2 名必要であると答えた。生産者の中には一日かけてラタンを切って運ぶが、一度で運べる原材料の量は限られており、1 度で生産できるのは 25 ドル分にしかならないと話す者もいた。原材料の調達にかかる時間の平均は 7.7 時間であり、近隣で仕入れることができると答えた回答者もいたにも関わらず、平均しておよそ 1 日費やさなければならないことが明らかになった。

表 14 は原材料の調達コスト及び必要な人員についてまとめたものである。ラタン畑の所有者への支払いは 53 名の回答者が必要ないと答えたが、ラタン畑の所有者から購入している生産者は一月当たり 50 ドルの支払いをしていると回答した。購入している生産者のコストは一束当たりの平均が 1.9 ドルである。原材料仕入れにかかるコストは平均して 1.35 ドルである、車に相乗りをして仕入れに向かう生産者が多いためその内訳の多くは車である。また、2 人以上で向かう場合は人件費がかかる場合もあった。

表 13 原材料の調達方法

原材料の仕入れ方法		
1	購入	15人 (27.8%)
	自分でとりにいく	30人 (55.6%)
	両方	9人 (16.7%)
2	ラタン畑までの距離	
	平均	64.6km
	最短	0km
	最長	250km
3	原材料の調達にかかる時間	
	平均	7.7時間
	最短	0時間
	最長	12時間
4	自前の籐畑を所有しているか	
	所有している	7人 (12.9%)
	所有していない	44人 (81.5%)
	不明	3人 (5.6%)
5	自宅近くで原材料を仕入れることができるか	
	できる	18人 (33.3%)
	できない	36人 (66.7%)

出所:筆者調査データより作成

表 14 原材料調達のコスト及び人員

籐畑の所有者に代金を支払っているか		
1	支払っている	1人 (1.9%)
	支払っていない	53人 (98.1%)
2	生産までにかかるコストの計算をしているか	
	している	20人 (37.0%)
	していない	32人 (59.3%)
	不明	2人 (3.7%)
3	一束当たりの原材料の価格	
	平均	1.9ドル
4	原材料を採って運ぶのに必要な人員(該当者39人)	
	1人	13人 (33.3%)
	2人	19人 (48.7%)
	不明	7人 (18.0%)
5	原材料の伐採、輸送コスト	
	平均	1.35ドル

出所:筆者調査データより作成

6-3. 生産状況

表 15 は一日の労働時間を表している。生産者は時間を決めず家事の合間や農作業の合間に行っていることが多いため、本項目においては正確な数字を把握するのが極めて難しい。また、一日中生産していると答えた生産者は 21 名だったが、すべて 8 時間として計算した。家事労働時間は 8 時間未満の回答者が 6 割を超えたが、RH 生産の時間の方が家事時間よりも長く 8 時間以上生産していると答えたのが 63% であった。

カンボジアにおけるラタン手工芸品産業の現状と課題
－シェムリアップ州カーサン村を事例として－

表 15 労働時間

	家事労働時間	RH労働時間
8 時間未満	36 (66.7%)	20 (37.0%)
8 時間以上	18 (33.3%)	34 (63.0%)
平均	6.0時間	8.8時間
最短	1 時間	2時間
最長	16時間	12時間

出所:筆者調査データより作成

労働日数の平均は 5.4 日間である。労働時間と日数の項目からは、生産者の労働時間にはばらつきがあり、オーダー数や他の仕事の影響で大きな差があることが明らかになった。また、生産する場所に関しては 53 名が自宅で生産すると回答し、残りの 1 名も近所で生産していると答え、製作所などで生産する回答者は 1 名もいなかった。企業や機関から雇用をされている生産者は 11 名いたが、その生産者も半数以上は自宅で生産し製品ごとの買い取りによって所得を得ているが、4 名の回答者は月給であると回答した。

表 16 世帯当り RH 生産者数

世帯内RH従事者数	回答者数	割合
1 人	31世帯	57.4%
2 人	13世帯	24.1%
3 人	5世帯	9.3%
4 人	2世帯	3.7%
5人以上	2世帯	3.7%
不明	1世帯	1.9%

出所:筆者調査データより作成

表 17 RH 生産を始めた年齢

18歳未満	37人 (68.5%)
18歳以上30歳以下	15人 (27.8%)
31歳以上	2人 (3.7%)
平均	16.6歳
最年少	7歳
最高齢	56歳

出所:筆者調査データより作成

表 18 RH 生産を始めた理由

回答項目	回答者数	割合
家族の手伝いのため	26人	48.1%
お金のため	10人	18.5%
時間があつたから	8人	14.8%
興味、デザインが好きだから	5人	9.3%
他に仕事がないから	3人	5.6%
RH生産スキルを持っているから	1人	1.8%
就学歴がないから	1人	1.8%

出所:筆者調査データより作成

表 19 生産スキルの習得

	回答者数	割合
独学	6人	11.1%
家族	42人	77.8%
教師	5人	9.3%
その他	1人	1.9%

出所:筆者調査データより作成

6-4 経験と生産スキル

表16は回答者を含めた1世帯当りのRH生産者数を表している。世帯人数平均は4.7人であり、1世帯当りの生産者平均人数は約1.7人である。1世帯当り1人が生産している場合が最も多く31世帯である。次に多いのが2人であり、1世帯当り1から2名の少数で生産している場合が全体の81.5%である。不明の世帯も1人以上は従事していることができ、それをもとに算出した村内のRH生産者数は少なくとも91人となることが明らかになった。これは村の人口の16.4%である。表17は回答者がRHを生産し始めた年齢である。多くは子供の時から家族の手伝いの為に、家族によってスキルを学び生産を始めている。そのため生産開始年齢は18歳未満とした回答者が最も多く、平均年齢は16.6歳、最年少は7歳であった。実際に初めて生産した製品を販売した年齢の平均は18.4歳であるため、開始した当時は手伝いとして始めていることがわかる。また、最高齢の56歳でRH生産を開始した回答者も世帯の家計を助けるためにRH生産を開始したと回答している。

表18にまとめたRH生産を始めた理由で最も多かったのが「家族の手伝いのため」であったが、その他の理由では「お金のため」、また「時間があったため」といった理由が続いた。回答者の年齢とRH生産を開始した年齢から平均24.6年とRH生産の経験年数は長い。生産できるRHの種類の平均は2.7種類と少なく、主にバスケット、トレー、ペン立てなどを作っている生産者が多い。また、クラベイリエル行政区内で取引を行う仲介人によれば、行政区ごとにラタン製品の特色があり、クラベイリエル行政区内の商品は比較的小物雑貨が多いという。そのため、回答者が生産できる製品も比較的小サイズの小さなバスケットなどが目立った。回答者が実際に生産しているものの平均は2.7個であるが、デザインをみれば生産することができるという回答した生産者は54名中41名であり、実際には注文があれば、その製品を作ることができるスキルを有している生産者が8割近くいることが明らかになった。表19は「誰にRH生産のスキルを習ったか」という質問の回答である。生産スキルは家族によって受け継がれてきたもので家族によって学んだとした回答が8割近く、最も多かった。

カンボジアにおけるラタン手工芸品産業の現状と課題
 - シェムリアップ州カーサン村を事例として -

表 20 取引価格と生産時間

		最低価格商品	最高価格商品
価格	平均	1.03ドル	3.5ドル
	最低価格	0.125ドル	0.375ドル
	最高価格	10ドル	25ドル
時間	平均	5.3時間	9.9時間
	最短時間	1時間	1時間
	最長時間	12時間	60時間

出所:筆者調査データより作成

表 20 に生産者が製作することのできる最も価格の低い商品と最も価格の高い商品の取引価格と生産時間についてそれぞれまとめた。製作することのできる RH の種類は生産者によってそれぞれであり、ここでは最も価格の高い商品と最も価格の低い商品がそれぞれ同一の種類の物であるとは限らない。そのため、生産者によって価格に大きく差が出ている。最も価格の低い商品の平均は約 1 ドルであり、作成にかかる時間の平均は 5.3 時間である。つまりは半日以上作成に時間がかかっても約 1 ドルでしか販売できないということである。そして最も価格が低かったものは 0.125 ドルである。その作成にかかる時間は 1 時間で、8 時間生産し、ようやく 1 ドル分を作ることができる。最も価格の低い製品を時給に換算すれば平均、0.19 ドル、最小値が 0.13 ドル、最大値が 0.83 ドルとなる。最も高い商品の平均は 3.5 ドルであり、平均して作成に 9.9 時間を要する。最も高い製品は 25 ドルであったが、作成に 60 時間かかるため、一日に 8 時間作成したとしても 1 週間以上かかる。最も価格の高い製品を時給換算すると平均が 0.35 ドル、最小値が 0.375 ドル、最大値が 0.42 ドルとなる。すべての製品に関してあてはまる訳ではないが、平均すると価格の高い製品の方が時給換算にして 1.8 倍高く売ることができる。最も価格の低い製品においては時給換算をすれば 4.4 倍の差があり、価格の高い製品を作ることができる生産者ほど製作時間に対して創出できる所得も高いということは明確である。最も価格の低い製品の平均を時給に換算し、RH 生産を法令の定める週最大 48 時間（ジェトロプノンペン事務所、2016）として 4 週分を換算すれば月額平均 36.5 ドルにしかならない。

RH 生産は農作業や家事の合間に行われるため労働時間の割に生産できる製品の量は少なく、作業効率の低さが所得の低さの要因のひとつであることは明らかである。また、これらの生産時間は原材料の仕入れなどの時間は含まないため実際にはこれ以上に時間をかけて RH は作られるのである。その上、カーサン村においては 10 ドル以上の製品を生産できる生産者は 54 名

中4名のみであり、高価格製品を作ることができる生産者も限りあることが明らかになった。高価格の商品を製作した方がより高い収入を得ることができるということは明らかであり、RH生産者のスキルと生産できるRHの価格の低さから、カーサン村におけるRH産業は効率的であるとは言えず、取引価格も低水準に留まっていることが明らかになった。

表 21 RH 生産による所得状況(月)

世帯所得	世帯数	割合	平均	最小値	最大値	中央値	最頻値
20ドル未満	6 世帯	11.1%	60.1ドル	6ドル	225ドル	50ドル	100ドル
20ドル以上50ドル未満	18世帯	33.3%					
50ドル以上100ドル未満	12世帯	22.2%					
100ドル以上	18世帯	33.3%					

出所:筆者調査データより作成

表 21 は RH 生産による 1 ヶ月あたりの所得状況を表している。最も少ない額は 6 ドル、最も多い額は 225 ドルであり大きな差がある。20 ドルから 50 ドル未満と答えた回答者と 100 ドル以上との回答が最も多く、それぞれ 18 世帯である。また、RH 生産による所得は世帯全体の所得の約 2 割に留まっていることが明らかになった。

6-5. 販売スキル

「主にどの市場に向けた製品を生産しているか」の問いに対しては 48 名が地元向けの商品であり、観光客向け、輸出向けと回答したのはそれぞれ 2 名ずつ、その他 2 世帯が不明であった。しかし、仲介人への調査によるとクラバヴィリエル行政区内で買い取られた商品はタイ国境付近のポイバトへ運ばれ、タイへ輸出されるため、生産者は仲介人に販売しているので地元向けと回答したと予測される。また、そうならば生産者は製品がどこで売られているのか把握していない場合が多いことも考えられる。それにより、市場の需要に対するデザインや品質、価格交渉の際に必要な情報など品質向上や価格の向上に不可欠な情報が生産者に欠如していることが考えられる。RH の市場での販売価格を知っているかの問いに対しては 50 名 (92.5%) が知らないと答えた。生産者のほとんどが直接地元の人や観光客に売ることではなく、仲介人を通して RH を販売している。観光客に直接販売する機会がある回答者は 2 名のみで、今までに 1 度も観光客に販売したことがない回答者は 37 名、ほとんど販売したことがないと答えた回答者は 13 名であった。仲介人と取引をする際、価格交渉を行っているのは 35 名で、19 名は交渉を行わないと答えた。仲介人によれば国境付近では、カーサン村での取引価格の 2 倍で取引され、輸出された RH はそのまた 2 倍の価格で販売される。仲介人によれば村内での取引価格は、国

カンボジアにおけるラタン手工芸品産業の現状と課題
 - シェムリアップ州カーサン村を事例として -

境付近での取引価格によって決定されるため、仲介人自身による値上げは容易ではない。どのように RH の価格の決定をするかという質問への回答は表 22 にまとめた。価格の交渉をしている生産者たちは主にコストと時間をもとに価格の決定を行っている。また、仲介人との交渉内容は、多くは価格についてであるが、オーダーの量や納品までの時間を交渉するという回答もあった。価格交渉を行っている生産者は約 65% と半数以上であるが、仲介人のインタビューから交渉の余地は少ないことが明らかになった。また、残りは交渉もせず仲介人の言い値に従っていた。村長のインタビューでも低い取引価格のために、何度も会合が開かれていたが、改善が見られていないことが明らかになり、現状のまま取引交渉を行っても今後、価格の大幅な改善は難しいと考えられる。

表 22 価格の決定要因及び交渉内容

販売価格の決定要因（複数回答可）		仲介人との交渉内容（複数回答可）	
コスト	29人	価格	30人
時間	28人	量	14人
デザイン	10人	時間	4人
品質	8人		

注：仲介人との交渉内容は交渉すると回答した35名を対象に複数回答可にし、回答してもらった。
 出所：筆者調査データより作成

カーサン村において取引価格を上げ生産者の収入を向上させるには、まず、品質の向上に取り組み新しい市場を探す必要がある。前述したように、現在取引される製品のまま同じ市場で交渉によって価格上げることは容易ではない。カーサン村における価格を上げ、生産者の所得を増やすには①より高い価格で取引される質の RH の開発に取り組み、それらを取引することのできる新しい市場へのアプローチをする必要がある。タイ以外の国への輸出や、ホテルやレストランの雑貨として、シェムリアップ市街地で売られるお土産品としても開発の余地がある。そして、②情報収集及びトレンドの調査を行い、より需要の高い製品を開発する必要がある。また、③生産効率を改善し生産数の増加に取り組むことも重要な改善課題である。これらは、原材料の調達や加工する過程を組織化することや、枠組などの簡易な道具の導入などによって可能であろう。そして①～③の改善のためには④仲介人や生産者の意識の向上を行うこと、が大きな課題である。

6-6. 需要と供給、価格の変化

表 23 にラタン製品の需要と価格の変化についてまとめている。最も需要が多い月の注文数

平均は42個である。最も需要が少ない月の注文数平均は21個である。また、RHの注文数は安定しているかの問いについてはおよそ6割が「安定していない」と回答した。仲介人のインタビューによれば、カンボジアとタイの正月には果物用のバスケットの需要が高まるため、一年で最も需要が高まるのは4月である。価格の変化に関しては5年前に比べて上昇していると答えた生産者が最も多く全体の55.6%であった。下降していると答えたのは4名のみであったが、変わらないと答えたのは19名であった。村長によれば、RHの価格が安いため何度も会合が開かれている。ここでは、価格が上昇していると答える生産者は多く、上昇はしてきているが依然価格は低水準に留まっていることが明らかになった。

表24には今後のRHの生産能力についてまとめた。本調査で明らかになったことはあくまで生産者の主観による供給能力であるが、RH生産を今後続けていくための十分な能力はあるかという問いに対しては26名が「はい」と回答し、28名は「いいえ」と回答した。能力があると答えた回答者は約70%～80%が時間、原材料、労働力が十分にあると回答した。また、供給能力がないと答えた回答者はその理由を時間がないとした者が最も多く全体の8割近くである。今後もRH生産を続けるかという項目では64.2%の生産者が続けると回答し、供給能力があると回答した生産者の割合を上回った。今後も続ける理由は所得のため、他に仕事がないためなどである。供給する能力があるかないかに関わらず、選択肢がないという生産者が多いということが明らかになった。

表23 需要と価格の変化

1	最も需要が多い月	
	注文数平均(月)	42個
2	最も需要が少ない月	
	注文数平均(月)	21個
3	RHの注文数は安定しているか?	
	安定している	21(38.9%)
	安定していない	33(61.1%)
	RHの価格は5年前と比べて変化しているか?	
4	上昇している	30人(55.6%)
	下降している	4人(7.4%)
	あまり変わらない	19人(35.2%)
	わからない	1人(1.8%)

出所:筆者調査データより作成

表24 生産能力

1	RH生産を続けるための十分な能力はあるか	
	はい	26(48.1%)
	いいえ	28(51.9%)
(1)はい	時間が十分にあるか	
	はい	18(69.2%)
	いいえ	8(30.8%)
	原材料は十分にあるか	
	はい	21(80.8%)
	いいえ	5(19.2%)
	労働力は十分にあるか	
	はい	21(80.8%)
	いいえ	5(19.2%)
(1)いいえ	その理由	
	時間がない	22(78.6%)
	原材料がない	4(14.3%)
	労働力がない	2(7.1%)
2	今後もRH生産を続けるか?	
	はい	34(64.2%)
	いいえ	19(35.8%)

出所:筆者調査データより作成

考察

本調査により明らかになったカーサン村の RH 生産の現状と問題点を以下にまとめた。

- (1) 回答者は女性が多く、わずかな男性生産者はいずれも高齢である。
- (2) 回答者の 3 割は非識字者であり、約半数は就学経験がないため職業選択機会が少ない。
- (3) RH 生産は農作業や家事の合間に行われており、その平均所得は世帯全体の 2 割に留まっている。
- (4) 世帯所得及び RH 生産の所得に関していずれも 8 割の世帯の回答者が「安定していない」と感じている。
- (5) 回答者の多くは RH 生産のスキルを家族から学んでいる。
- (6) 経験年数平均は 24.6 年であり、多くの生産者がデザインを見れば作ることができるスキルを持っているが、取引価格のばらつきから判断すれば生産できる種類、品質、生産数に差があり、それによる所得にも開きがある。
- (7) ほぼすべての生産者が RH を、仲介人を通して売っているため、RH の流通と市場での価格についてほとんど把握していない。
- (8) 村内の取引価格はタイ国境付近の取引価格に左右され、仲介人も価格交渉の余地がない。
- (9) RH 生産の労働時間平均は 8.8 時間であるが、家事や育児の合間に行っており、自宅で生産するため効率的ではない労働環境にあることが予測できる。
- (10) 原材料が減少し、多くの生産者が周辺で原材料を確保することができない。また、遠方で原材料確保をするために労力とコストの負担が大きい。
- (11) 需要が高い時と低い時の注文数平均に開きがあり、RH 生産による所得が安定していない原因の一つである。
- (12) RH の価格は上昇しているが、生産者が満足する程高くもない状態である。
- (13) 回答者の約 6 割が様々な理由から今後も RH 生産を続けていくと回答している。
- (14) RH 生産を選択する理由や今後も続ける理由は「お金」、「家族」、「他に仕事がない」など、多くは「所得」機会に関する理由である。

(1) から (14) までを整理すると、RH 生産が総じて生産性が低く、所得も不安定であり、村内会議が開かれる程価格の低さに対して不満を持つ背景があるにも関わらず、RH 生産が続けられてきた点である。これは、RH 生産がカーサン村の生産者にとって数少ない職業選択の一つであるということを表している。回答者の多くは教育機会や経済的理由、農村地域での職業選択機会の少なさから RH 生産を選択している。また、ほとんどの生産者世帯の経済状況は RH の注文数や農産物の採れ高によって左右され、生産者自身でコントロールすることは困難であ

る。それでも尚、家事や育児の合間に自宅で行うことが可能な RH 生産はカーサン村の人々にとって貴重な所得の獲得手段である。季節的な経済活動である農業を主な生計手段としながら、経済的、時間的事情に応じて生産ペースを変化させ、所得を得ることができるのである。だからこそ、現状では様々な問題点があったとしても、存続させ課題を解決し収入向上に繋げる必要性は高い。現状では、価格や流通、コストなどを生産者自身が把握する努力をしているとは言い難く、村内における RH 産業は経済的にも技術的にも発展を遂げていない。今後の発展のためには、生産者及び、仲介人もしくは支援者組織などの第3者の努力が必要である。回答者の RH 生産選択に経済的理由が多かった点から、今後 RH 産業の存続において鍵となることは生産者の「所得」の向上であるということは明らかである。生産者の平均年齢が30代であることから、今後カーサン村において RH 生産は継続されると考えられ、現状の課題の解決は重要である。①品質向上のためのトレーニング、②生産効率向上のための組織作り、③情報収集及びトレンドの調査④新規市場の開拓、⑤①～④を行う上で生産者や仲介人の意識向上を行うことが今後の課題となる。農業を主な生計手段としながら RH 生産を行ってきた生産者の時間的、経済的事情に配慮しながら、品質を上げ、価格を向上させ、生産スピードをあげる必要がある。

おわりに

本稿ではカーサン村における RH 産業の現状を明らかにするために、まず、カンボジア国内のラタン産業の現状を先行研究と貿易データ、仲介人へのインタビューをもとにまとめた。そして、全体のラタン関連輸出に対して、RH が占める割合は少なく、今後成長の余地があることが明らかになった。また、カーサン村における RH 産業の現状に関しては、インタビュー調査をもとに明らかにした。結果、カーサン村における RH 生産の生産性が低く、所得も不安定でありながらも所得の機会が少ない為に続けられてきたことが明らかになった。回答者の多くが、教育機会や経済的理由、農村地域での職業選択機会の少なさから RH 生産を続けている。農産物の採れ高や、RH の注文数によって経済状況が左右されており、生産者自身でコントロールすることは困難な状況にある。それでも、経済的、時間的事情に応じて生産ペースを変化させ、所得を得ることができる RH 産業は、村の人々にとって貴重な機会であり、現状におけるさまざまな課題を解決し収入向上に繋げる必要がある。今後の RH 産業の発展のためには、品質や、販売スキル、生産性の向上が不可欠であるという結論に達した。

カンボジアにおけるラタン手工芸品産業の現状と課題
－シェムリアップ州カーサン村を事例として－

これまでのシェムリアップ州の RH 産業に関する研究では、生産者の経済社会状況が中心となり、その潜在性や生産者の貧困削減の可能性、今後の開発の必要性が述べられている。本稿においては、今後シェムリアップ州の RH 産業が存続し、村の人々にとって安定した雇用と所得機会を獲得する手段となるよう発展させていくため、経験と生産スキル、生産状況、価格交渉やコスト管理をはじめとしたとても測りにくい分野を調査し、RH 産業の実態を明らかにしている。

しかし本稿では、RH 産業の現状を明らかにし、その課題を抽出したことに留まっており、今後の RH 産業における課題を提案しながらも、販売スキルや、品質、生産性の向上に関する具体的な提案ができていない。今後、より具体的な提案の為に海外の RH 産業の事例も詳細に調査する必要がある。上述した課題解決のための組織作りやラタン及び手工芸品産業に関する情報収集を行い生産者や仲介人への市場意識を向上させた上で、その経済的、社会的な効果を検証することが更なる課題となる。

参考文献

- 上田広美、岡田知子編著（2006）、『カンボジアを知るための 60 章』、明石書店。
- 牛久晴香（2012）、「アフリカ農村と先進国市場をつなぐ仲介者 - ガーナ北東部の輸出向け手工芸品ボルガ・バスケットの事例 -」、『アフリカ研究』、日本アフリカ学会、No81、1-15 頁。
- 国際協力機構（2010）、『カンボジア王国貧困プロファイル調査（アジア）最終報告書』、独立行政法人国際協力機構。
- ジェトロ・プノンペン事務所（2013）、「カンボジア労務マニュアル」、『JETRO カンボジア労務マニュアル（2013 年 10 月・第 2 改訂版）』、独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）。
- 長澤理加（2014）、「小規模生産者支援組織が生産者に対して果たす役割 - インドネシア・ジャカルタ市の事例から -」、『グローバル人間学紀要（7）』、95-107 頁。
- 樋口博美（2014）、「ベトナムの手工芸品をめぐる生活とその支援：ベトナム手工芸品見聞録から」、『専修大学社会科学研究所月報 606・607』、148-156 頁。
- 廣畑伸雄（2004）、『カンボジア経済入門－市場経済化と貧困削減－』、日本評論社。
- マング・マング・ルウィン、山川貴裕（2014）、「カンボジア農村部における家内産業の可能性－シェムリアップ州ポピセ村におけるラタン手工芸品産業について－」、『海外事情研究』 第 42 巻第 1 号、1-23 頁。
- 森千恵（2011）、「カンボジアにおけるソーシャルビジネスの可能性」、『発展途上国におけるソー

- シャルビジネス研究－ソーシャルビジネスの貢献及び限界－』、熊本学園大学修士論文。
- 山川貴裕 (2014)、「カンボジアの農村における社会経済状況－シェムリアップ州タットレイ村の事例－」、『熊本学園大学経済論集』、第20巻第1-4合併号、59－101頁。
- 山川貴裕 (2015)、「シェムリアップ州の現状分析」、『カンボジア、シェムリアップ州農村部における貧困研究』、熊本学園大学博士論文、88－101頁。
- 山川貴裕 (2015)、「シェムリアップ州農村部の貧困現状分析」『カンボジア、シェムリアップ州農村部における貧困研究』、熊本学園大学博士論文、102－141頁。
- Asian Development Bank. (2014), "Cambodia Poverty Analysis 2014", Printed in The Philippines.
- Hill, M. (2015), "*The Artisanal Craft Industry and its Role in Poverty Alleviation for Artisans, Communities and the Young Emerging Workforce in Cambodia*", Master Dissertation of School of Oriental and African Studies, University of London.
- Hirschberger, P. (2011), "*Global Rattan Trade: Pressure on Forest Resources Analysis and Challenges*", WWF Austria.
- Lwin, M. M. (2011). "Investigating Village Socio-Economic Condition and Possibility of Poverty Reduction through Sample Survey (The Case of Rattan Handicraft Village of Siem Reap, Cambodia)", *Studies in Foreign Affairs*, Vol39, No1.
- Lwin, M. M. and Mori, C. (2009), "Possibility of Establishing Social Business in Cambodia." Unpublished Research Paper, Presented at AURCED International Conference on Development Alternatives, Angkor University, Siem Reap, Cambodia.
- Lwin, M.M., Linne, Y and Mori, C. (2010), "Possibility of Generating Better Employment and Income Opportunities in Rattan Handicraft Village of Siem Reap, Cambodia." Unpublished Research Paper, Presented at the the 2nd AURCED International Conference on Development Alternatives, Angkor University, Siem Reap, Cambodia.
- Cambodia, Ministry of Tourism. (2015), "*Tourism Statics Report*". Phnom Penh, Cambodia.
- Pwint, A. C. (2015), "Investigating Village Socio-economic Conditions in Cambodia.(The case of Rattan Handicraft Village of Tor Tea, Siem Reap)" , *Journal of Economics*, Kumamoto Gakuen University. Vol.22(No.1-2)、pp.145-166。
- Rahman, M. H., Fardusi, M. J., Roy, B., Kamal. M. M., Uddin, M. J., Khan, M. A. S. A. (2011), "Production, Economics, Employment Generation and Marketing Pattern of Rattan-Based Cottage Enterprises: A Case Study from Urban Area of North-Eastern Bangladesh." *Small-Scale Forestry*11.

Hourt, K. E. (2008), *A Field Guide of the Rattans of Cambodia*, WWF Greater Mekong-Cambodia Country Programme.

WWF. (2010), “*Establishing a sustainable production system of Rattan Products in Cambodia, Laos and Vietnam-research and case studies.*” WWF Report.

日本、外務省、カンボジア王国、

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/cambodia/> (2016 年 4 月 7 日)

総務省統計局、Economic Census of Cambodia、

http://www.stat.go.jp/info/meetings/cambodia/pdf/ec_pr17.pdf (2016 年 4 月 7 日)

Google Map, <https://www.google.co.jp/maps> (2016.May.8)

World Bank, Data, Cambodia.

<http://data.worldbank.org/country/cambodia> (2016.Apr.7)

Summary

The Current Situation and the Subject of Rattan Handicraft Production in Cambodia: The case of Kar Sang Village, Siem Reap

This paper set to target Rattan Handicrafts producers of KarSang village in Siem Reap, Cambodia. The income from Rattan Handicraft production has been compensated their family income for a long time. This paper attempts to investigate the task of RH production for the sustainability of Rattan Handicraft production, the stability of income and employment opportunities, and the development of the production through their economic condition, living condition and the situation of Rattan Handicraft production.

The study revealed that the income of producers are mostly unstable and having dissatisfaction on the price of their products, nevertheless, they need to continue RH production because there is no other choice for their employment in the village. Then finally the author concluded that ① Skill training for better quality products, ② Systematization for more efficient production, ③ Collection of market Information and trend, ④ Finding new market route, ⑤ Improving the mindset of producers and middleman for practicing ① to ④, are the main task for the development of Rattan Handicraft production in the village.

The 4th Rattan Handicraft Village Survey in Siem Reap, Cambodia
6th and 7th, February 2016

Chie MORI

Survey area : Kar Sang Village, Siem Reap, Cambodia

Number: () **Date**(/ /) **Interviewer**() **Interviewee**()

I. General information of interviewee

- ☐ 1. Sex a. Male b. Female
- ☐ 2. Age ()
- ☐ 3. Marital status: a. Single. b. Married. c. Widowed d. Divorced
- ☐ 4. Number of family member (person)
- ☐ 5. Number of family member who engaging RH as their job (person)
- ☐ 6. Monthly total income except RH in your family (\$)
- ☐ 7. Level of Education of the interviewee:
 a. Illiterate. b. Read & Write. c. Primary. d. Middle. e. High. f. University.
- ☐ 8. Do you have children? a. Yes b. No
- ☐ 9. If you answered yes...the number of children under 15 years old. (person)
- ☐ 10. Do they help with producing RH? a. Yes. b. No
- ☐ 11. Number of children over 15 years old (person)
- ☐ 12. Do they help with producing RH? a. Yes. b. No

II. Income and Expenditure:

A. Income

- ☐ 1. Average monthly income from RH job (\$)
- ☐ 2. Is your income from RH stable? a. Yes. b. No
- ☐ 3. Average total family income(\$)
- ☐ 4. Is your family income stable? a. Yes. b. No
- ☐ 5. What is your main family income come from? ()
- ☐ 6. How much does he/she earn in a month on average? (\$)
- ☐ 7. What is your another job? ()
- ☐ 8. Is your income from RH stable? a. Yes. b. No

B. Expenditure:

- ☐ 1. How much money do you spend for food for you and your family in a week? (\$)
- ☐ 2. How much money do you spend for other than food items in a week?(\$)
- ☐ 3. Do you have savings? a. Yes. b. No
- ☐ 4. If yes, what do you saving for?()
- ☐ 5. Do you have any loans? a. Yes. b. No
- ☐ 6. If yes, what do you borrow for?
 a. Cell phone b. Motorbike c. House d. Education e. Car f. Farming f. Others()
- ☐ 7. Who do you borrow from? ()

III. Living environment

- ☐ 1. How old is your house?(years old)

- ☐2. What kind of durable goods do you have?
a. TV b. refrigerator c. Air Conditioner d. Microwave e. Car f. Motorbike g. Others
- ☐3. Do you use electricity? a. Yes. b. No
- ☐4. Do you have toilet in your house? a. Yes. b. No
- ☐5. How do you get your drinking water? ()

IV. Experience & Skill

- ☐1. When did you start to learn how to make RH? Age ()
- ☐2. Why did you start RH business? ()
- ☐3. When was the first time you earned money with RH? Age ()
- ☐4. Number of types of products you can make: ()
- ☐5. Types of RH that you can produce (i) (ii) (iii) (iv)
- ☐6. Who taught you how to make RH?
a. By myself b. By family member () c. By teachers d. By Others ()
- ☐7. Minimum & Maximum value of RH products:
a. Cheapest price (\$) a1. How many hours do you spend for this item? (hours)
b. Most expensive price (\$) b1. How many hours do you spend for this item? (hours)
- ☐8. If we provide the sample of new rattan design, can you produce? a. Yes. b. No.
- ☐9. Is your product mainly designed for? (local people/Tourist)
- ☐10. Why? (For example: easy to make/ more demand) ()
- ☐11. Do you know how much are your products sold in the Market? a. Yes. b. No.
- ☐12. How much do you sell to middleman on monthly average? (\$)
- ☐13. How much do you directly sell to Tourists (monthly)? (\$)
- ☐14. How much do you directly sell to local people (monthly)? (\$)
- ☐15. How often do you directly sell RH to tourist?
a. Once a week b. Once a month c. Once a year d. More often e. Less often
- ☐16. How do you decide the price of your product? (Multiple answers allowed)
a. Time of making b. Cost of making c. Quality d. Design e. Others ()
- ☐17. Do you negotiate with middleman when you selling your products? a. Yes. b. No.
- ☐18. If your answer is yes, what do you negotiate for? ()

V. Working Conditions

- ☐1. How many hours a day do you work for producing RH on average? (hours)
- ☐2. How many hours a day do you work for housework on average? (hours)
- ☐3. How many days a week do you work for producing RH on average? (days)
- ☐4. Does the working hour is changing everyday? a. Yes. b. No.
- ☐5. Do you employed by someone? a. Yes. b. No.
- ☐6. If yes, Do they pay the fee monthly? Or pay for items? (monthly/ each items)
- ☐7. Where do you making RH products? (at own house/ at workshop/ at others)

VI. Production decision

- ☐1. Production decision (select from above: multiple answers allowed)
a. producing at own pace. b. Amount of production based on order quantity c. Amount of production based on price d. Amount of production based on available raw rattan e. Amount of production based on weather
f. Amount of production based on other factors

VII. Raw material, required labor, cost and seasonal variation

- ☐1.How do you get raw materials? 1.buy 2.cut and carry 3.growing 4.others()
- ☐2.If you answered 1.buy, Who do you get raw materials from?
a. middleman / b. market / c. village head / d. farmer / e. Others()
- ☐3.How often do you get the raw materials?(times/month)(times/year)
- ☐4.How much do you spend each time for get them?(\$ /1time)
- ☐5.How much is the raw rattans? (\$ /bundle)
- ☐6.Required hours for cutting rattan and carrying rattan: ()
- ☐7.Required number of people for cutting and carrying rattan: ()
- ☐8.Estimated distance to rattan bush: (km)
- ☐9.Do you have your own rattan bush? a. yes b. no
- ☐10.Can you get raw rattan near your house? a. yes b. no
- ☐11.Do you calculate the cost for RH by yourself? a. Yes. b. No.
- ☐12.How much do you spend for making RH per month? (\$)
- ☐13.Raw rattan reserve a. Plenty b. Just enough c. Not enough d. Going to face rattan shortage soon
- ☐14.Do you buy raw rattan? a. Yes. b. No.
- ☐15.If yes, How much do you spend in your family for get raw rattan? monthly (\$ /)
- ☐16.Do you think it's expensive? a. Yes b. No
- ☐17.How much did you spend for carrying raw rattan to home? (\$)
- ☐18.What for? a. borrow car(\$) b. hire people(\$) c. other(\$)
- ☐19.How much did you pay to rattan bush owner? 1 (\$ / pieces) 2.No need to pay

VIII. Demand potential

- ☐1. Is the order for RH stable? a. Yes b. No
- ☐2. How many order do you get per month (highest)? ()
- ☐3. How many order do you get per month (lowest)? ()
- ☐4.The highest demand month()
- ☐5.The lowest demand month()

IX. Change in rattan handicraft price trend and price differential

- ☐1. Trend Change in Price (select the answer from bellow, compare to 5 years ago)
a. Increasing b. Declining c. Not change too much

X. Supply potential:

- ☐1.Do you have enough capacity to response market demand? a. Yes b. No
If yes, ☐a1. Do you have time to produce more? a. Yes b. No
- ☐a2. Do you have enough raw rattan to produce more? a. Yes b. No,
- ☐a3. Do you have enough labor to produce more? a.Yes, b. No
- ☐a4.If no., Why? a. Do not have time. b. Do not have enough raw rattan. c. Do not have enough labor.
d. Other problems
- ☐2.Do you continue RH business for years to come? a. Yes b. No Why? ()
- ☐3.Is there any problem to continue RH business? a. Yes b. No
If yes, what is the problem? ()